

平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 アクモス株式会社
 コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 飯島 秀幸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 中川 智章

TEL 03-5217-3121

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年6月期第2四半期 | 1,885 | 19.8 | 61 | | 65 | | 51 | |
| 29年6月期第2四半期 | 1,573 | 16.4 | 60 | | 49 | | 55 | |

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 50百万円 (%) 29年6月期第2四半期 57百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年6月期第2四半期 | 5.29 | |
| 29年6月期第2四半期 | 5.72 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年6月期第2四半期 | 2,453 | 1,488 | 59.2 |
| 29年6月期 | 2,550 | 1,458 | 55.5 |

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 1,452百万円 29年6月期 1,414百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年6月期 | | 0.00 | | 2.00 | 2.00 |
| 30年6月期 | | 0.00 | | | |
| 30年6月期(予想) | | | | 3.00 | 3.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-----|------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,200 | 3.4 | 155 | 5.8 | 170 | 6.9 | 150 | 4.2 | 15.46 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年6月期2Q | 10,215,400 株 | 29年6月期 | 10,215,400 株 |
| 期末自己株式数 | 30年6月期2Q | 515,900 株 | 29年6月期 | 515,900 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年6月期2Q | 9,699,500 株 | 29年6月期2Q | 9,699,500 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期の経営成績・財政状態の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期の経営成績・財政状態の概況 | 2 |
| (1) 経営成績の概況 | 2 |
| (2) 財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期の経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日、以下「当四半期」という。)における我が国経済は、東アジア地域における地政学的リスク、欧州の政治情勢や米国の政策運営の不透明感など景気の先行きに対するリスクがあり不透明な情勢が続いております。一方、雇用情勢は良好な環境が持続しており、輸出や生産の増加により景気の緩やかな拡大傾向がみられました。当社グループの情報技術事業における事業環境では、政府の進める働き方改革による労働生産性の向上のためのICTの活用や労働者の健康管理に対するシステム活用のニーズが増しております。また国土保全における森林整備が注目されてきており、システムの活用が期待されております。引き続きクラウドの市場も拡大しておりますが、情報システムへの依存が高まるに連れて情報セキュリティ対策の重要性も高まってきております。

当社グループは、社会に必要とされる企業であり続けるため、2025年6月期までに取り組むべき事業の方向性を示した「長期ビジョン2025」を制定し、「長期ビジョン2025」の最初の3年間に実行する計画「中期経営計画I(2016/07-2019/06)」を策定いたしました。「中期経営計画I(2016/07-2019/06)」におけるテーマ「変革」に基づき、産業や技術分野等特定の対象を深耕し、当社グループの技術を生かしたソリューション、サービスを提供する専門特化による事業変革を進めております。

当四半期では、中期経営計画I(2016/07-2019/06)の2年度目として、前期に実施してきた施策を継続するとともに、グループ各社において対処すべき課題に取り組みました。対処すべき課題として、ITソリューション事業においては、受託開発分野の収益性の改善、受注拡大にむけた人材の確保、公共関連中心のビジネスモデルからの脱却のための自社製品の開発と販売促進、ITサービス事業においては、健康管理システムの提供に伴う個人情報管理体制の整備とセキュリティ面の安全性確保が必要だと考えております。またアクモス株式会社単体で取り組みを始め、前期よりアクモスグループの各子会社でも取り組みを始めた全員参加型のマネジメント体制(これを当社グループでは「ウィングシステム」と呼んでおります。)では、小規模な部門別の採算管理を行うことにより次世代リーダーの育成とともに、問題点の早期発見と対処が行える体制を整備し、付加価値の増大を目的とする取り組みを進めております。各社とも社員に部門採算や時間当たり採算の意識が高まってきております。

当四半期の売上高は前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日、以下「前年同四半期」という。)から311百万円増加し、1,885百万円(前年同四半期の売上高は1,573百万円、前年同四半期比19.8%増)となりました。営業利益は61百万円(前年同四半期は営業損失60百万円)、経常利益65百万円(前年同四半期は経常損失49百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失55百万円)となりました。各セグメント別の状況は以下のとおりです。

(ITソリューション事業)

アクモス株式会社では、情報セキュリティ分野を専門特化する分野として掲げております。雇用情勢の改善により人材採用環境は厳しさを増しておりますが、技術者の採用活動に注力しております。また、社員に対しても情報処理安全確保支援士等の資格取得を積極的に支援して専門性の向上を図っております。当四半期では自社開発サービス「標的型攻撃メール対応訓練」(SYMPROBUS Targeted Mail Training)の代理店販売による営業を展開し、大手企業へのテスト導入を受注しました。代理店主催の展示会への出展などを行い営業強化を図っております。また、パートナー企業の製品を活用しセキュリティに関連した案件への営業活動を展開しました。前期より積極的に受託開発や請負案件の受注活動を行っていましたが、受託開発案件の受注の増加や、機械メーカーでのシステム更新に伴う常駐型開発案件での増員対応により稼働が増えたこと等から、当四半期の売上高は1,195百万円(前年同四半期は875百万円、前年同四半期比36.5%増)となりました。

ASロカス株式会社では、空間情報の利活用の専門特化に取り組んでおります。当四半期では、森林ICTプラットフォームの導入を全国に展開し、これまでの地方自治体の導入実績をもとに引き続き森林ICTプラットフォームを中心として関連する山林調査などGIS以外の案件も併せて地方自治体や森林組合などからの受注に取り組みました。これまでの市場ニーズに合わせた既存の開発に、中長期に商品・製品開発に取り組む専任の開発を加えて開発体制の強化を図り、主力製品であるGEOSISの開発を進めるとともにGIS以外のシステムにも取り組みました。当四半期の売上高は153百万円(前年同四半期は売上高145百万円、前年同四半期比5.1%増)となりました。

ACMOSソーシングサービス株式会社では、医療や自動車業界を中心とした業種でのICTサービスの専門特化に取り組んでおります。当四半期では企業向けシステム開発分野については順調に推移しました。また医療

系システム構築分野においては受注が確定せず待機となる案件が発生しました。医療系システムの運用分野については、要員の確保が難しく受注見送りとなった案件もありましたが、新規の受注もあり、入札案件の獲得にも注力しております。また一部に作業負荷が増しており作業効率化を進めております。新卒採用活動と社員の専門性向上のための教育を継続して行っているほか、医療系システムの運用については人材採用の環境は厳しいものの経験者採用にも注力しております。当四半期の売上高は271百万円(前年同四半期は売上高305百万円、前年同四半期比11.0%減)となりました。

I Tソリューション事業の売上高は1,620百万円(前年同四半期は1,326百万円、前年同四半期比22.1%増)、営業利益28百万円(前年同四半期は営業損失91百万円)となっております。

(I Tサービス事業)

I Tサービス事業は株式会社ジイズスタッフ1社のみとなっております。

株式会社ジイズスタッフでは、働く人の健康や教育に関するB P Oソリューションの拡張による専門特化を進めており、特にE A P (Employee Assistance Program : 従業員支援プログラム)分野の商品開発と受注活動に注力しております。当四半期ではストレスチェックの案件についてはE A Pサービス会社からの受注が好調でE A P分野の売上高は前年同四半期比で5.0%増となりました。「健康経営」をテーマにセミナーを開催し前期よりサービスを開始したクラウド健康管理システム「L I F E D E S K」の紹介を兼ねたプロモーションを行い、「L I F E D E S K」に対しては機能の追加や改修を進めました。また、従業員満足度調査パッケージをリリースし、今後ストレスチェックと合わせたサービス提供も計画しております。当四半期の売上高は301百万円(前年同四半期は売上高277百万円、前年同四半期比8.4%増)、営業利益51百万円(前年同四半期は営業利益53百万円)となっております。

(2) 財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産

当四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ97百万円減少し、2,453百万円となりました。これは主に、仕掛品の増加116百万円の方で、現金及び預金の減少192百万円があったことによるものです。

②負債

当四半期末の負債は前連結会計年度末に比べ127百万円減少し、965百万円となりました。これは主に、未払費用の減少180百万円、長期借入金の減少33百万円の方で、短期借入金の増加56百万円があったことによるものです。

③純資産

当四半期末の純資産は前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、1,488百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円、配当金の支払額19百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比べ187百万円減少し、1,191百万円となりました。

各キャッシュ・フローの区分の状況とその要因は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは184百万円の支出(前第2四半期は288百万円の支出)となりました。これは主に、資金の異動を伴わない減価償却費22百万円、税金等調整前四半期純利益64百万円の方で、棚卸資産の増加額116百万円、未払費用の減少等のその他167百万円があったことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは6百万円の支出(前第2四半期は26百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8百万円、無形固定資産の取得による支出3百万円の方で、定期預金の純減少5百万円があったことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは3百万円の収入(前第2四半期は130百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の純増加56百万円の方で長期借入金の返済による支出33百万円、配当金の支払額19百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月4日付の「平成29年6月期決算短信」にて公表いたしました平成30年6月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,427,609 | 1,235,104 |
| 受取手形及び売掛金 | 573,689 | 557,267 |
| 商品 | 3,881 | 4,244 |
| 仕掛品 | 61,201 | 177,443 |
| 繰延税金資産 | 25,134 | 26,961 |
| その他 | 35,622 | 36,479 |
| 流動資産合計 | 2,127,138 | 2,037,499 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 237,864 | 237,864 |
| 減価償却累計額 | △138,655 | △141,850 |
| 建物及び構築物(純額) | 99,209 | 96,014 |
| 工具、器具及び備品 | 189,743 | 196,406 |
| 減価償却累計額 | △136,024 | △147,240 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 53,718 | 49,166 |
| 土地 | 68,836 | 68,836 |
| 有形固定資産合計 | 221,763 | 214,016 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 23,666 | 21,666 |
| ソフトウェア | 40,542 | 34,761 |
| その他 | 2,961 | 3,877 |
| 無形固定資産合計 | 67,170 | 60,304 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 33,019 | 42,339 |
| 関係会社株式 | 64,104 | 64,104 |
| その他 | 37,714 | 35,554 |
| 投資その他の資産合計 | 134,837 | 141,998 |
| 固定資産合計 | 423,772 | 416,320 |
| 資産合計 | 2,550,911 | 2,453,820 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 130,997 | 123,667 |
| 短期借入金 | 245,000 | 301,668 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 66,660 | 66,660 |
| 未払金 | 145,705 | 138,347 |
| 未払費用 | 320,304 | 139,371 |
| 未払法人税等 | 35,395 | 27,031 |
| 賞与引当金 | 19,400 | 30,317 |
| その他 | 52,175 | 92,127 |
| 流動負債合計 | 1,015,640 | 919,190 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 72,235 | 38,905 |
| 繰延税金負債 | 3,720 | 6,311 |
| その他 | 1,069 | 1,069 |
| 固定負債合計 | 77,024 | 46,285 |
| 負債合計 | 1,092,664 | 965,475 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 693,250 | 693,250 |
| 資本剰余金 | 1,176,282 | 1,176,282 |
| 利益剰余金 | △409,525 | △377,617 |
| 自己株式 | △53,911 | △53,911 |
| 株主資本合計 | 1,406,095 | 1,438,003 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,428 | 14,300 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,428 | 14,300 |
| 非支配株主持分 | 43,722 | 36,040 |
| 純資産合計 | 1,458,246 | 1,488,344 |
| 負債純資産合計 | 2,550,911 | 2,453,820 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 1,573,985 | 1,885,188 |
| 売上原価 | 1,122,782 | 1,315,492 |
| 売上総利益 | 451,202 | 569,696 |
| 販売費及び一般管理費 | 511,827 | 508,671 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △60,625 | 61,024 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 281 | 332 |
| 助成金収入 | 11,146 | 1,570 |
| 保険配当金 | — | 3,710 |
| 雑収入 | 1,643 | 1,753 |
| 営業外収益合計 | 13,071 | 7,367 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,028 | 1,757 |
| 雑損失 | — | 950 |
| 営業外費用合計 | 2,028 | 2,707 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △49,582 | 65,684 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 947 | — |
| 特別退職金 | 650 | 1,131 |
| 特別損失合計 | 1,597 | 1,131 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △51,179 | 64,553 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 17,883 | 22,032 |
| 法人税等調整額 | △5,176 | △1,826 |
| 法人税等合計 | 12,707 | 20,206 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △63,886 | 44,346 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △8,419 | △6,959 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △55,467 | 51,306 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △63,886 | 44,346 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,386 | 5,871 |
| その他の包括利益合計 | 6,386 | 5,871 |
| 四半期包括利益 | △57,500 | 50,218 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △49,080 | 57,178 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △8,419 | △6,959 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △51,179 | 64,553 |
| 減価償却費 | 25,574 | 22,941 |
| のれん償却額 | 10,698 | 1,999 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △242 | — |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 9,754 | 10,917 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | △4,774 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △281 | △332 |
| 支払利息 | 2,028 | 1,757 |
| 固定資産除却損 | 947 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 7,309 | 34,819 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △150,015 | △116,926 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △7,916 | △7,330 |
| その他 | △129,990 | △167,515 |
| 小計 | △288,088 | △155,116 |
| 利息及び配当金の受取額 | 283 | 332 |
| 利息の支払額 | △1,090 | △1,611 |
| 法人税等の支払額 | △9,848 | △27,617 |
| 法人税等の還付額 | 10,140 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △288,602 | △184,013 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額(△は増加) | 4,800 | 5,200 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △24,773 | △8,541 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △7,416 | △3,665 |
| その他 | 832 | 103 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △26,557 | △6,903 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △33,370 | 56,668 |
| 長期借入による収入 | 200,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △35,508 | △33,330 |
| 配当金の支払額 | △11 | △19,004 |
| その他 | △342 | △722 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 130,768 | 3,611 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △184,392 | △187,305 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,202,611 | 1,378,800 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,018,219 | 1,191,495 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額(注) | 合計 |
|---------------------|--------------|-----------|-----------|---------|-----------|
| | I Tソリューション事業 | I Tサービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,296,612 | 277,373 | 1,573,985 | — | 1,573,985 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 30,346 | 500 | 30,846 | △30,846 | — |
| 計 | 1,326,958 | 277,873 | 1,604,831 | △30,846 | 1,573,985 |
| セグメント利益又はセグメント損失(△) | △91,022 | 53,119 | △37,903 | △22,722 | △60,625 |

- (注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△22,722千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△20,708千円、未実現利益消去△1,366千円、その他の調整額△647千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額(注) | 合計 |
|-------------------|--------------|-----------|-----------|---------|-----------|
| | I Tソリューション事業 | I Tサービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,584,383 | 300,805 | 1,885,188 | — | 1,885,188 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 35,618 | 337 | 35,956 | △35,956 | — |
| 計 | 1,620,002 | 301,142 | 1,921,144 | △35,956 | 1,885,188 |
| セグメント利益 | 28,616 | 51,227 | 79,844 | △18,819 | 61,024 |

- (注) 1 セグメント利益の調整額△18,819千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△19,267千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。